

## News Release



2021年6月24日  
NITE ( ナ イ ト )  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
北 陸 支 所

## エアコンと携帯用扇風機が大活躍！でも事故で冷や汗はご勘弁 ～夏に知っておくべき危険～

### 1. 事故の発生状況

2016年から2020年までの5年間にNITEに通知された製品事故情報<sup>※1</sup>のうち、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）においてエアコンの事故は8件<sup>※2</sup>ありました。

#### (1) 県別の年度別事故発生件数（表1）

表1 エアコンの事故の県別年別事故発生件数（2016～2020年）

発生年度		富山県	石川県	福井県	合計
2016年		1	0	0	1
2017年		0	2	1	3
2018年		0	0	0	0
2019年		1	0	0	1
2020年		0	2	1	3
合 計	事故件数	2	4	2	8
	火災件数	[2]	[4]	[2]	[8]

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数

#### (2) 県別の被害状況別事故発生件数（表2）

表2 エアコンの事故の県別被害状況別事故発生件数（2016～2020年）<sup>※3</sup>

被害状況		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	0
物的被害	拡大被害	2	3	2	7
	製品破損	0	1	0	1
被害なし		0	0	0	0
合 計		2	4	2	8

(※3) 表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## 2. 主な製品事故事例

### 2-1 エアコンの主な事故事例（事故原因が判明した事故）

① 施工事業者の施工不良により火災が発生した事故

・ 2017年11月（石川県、女性、70歳代、拡大被害）

【事故の内容】

使用中のエアコン付近から出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

施工業者が室内機の電源コードを途中で切断し、別の電線と圧着スリーブにより接続したため、接続部で接触不良が生じて異常発熱し、発火したものと考えられる。なお、取扱説明書及び据付工事説明書には、「電源コードの中間接続は行わない。火災の原因となる。」旨、記載されていた。

### 2-2 エアコンの主な事故事例（事故原因は不明であるが製品に起因すると推定される事故）

① 2016年8月（富山県、女性、70歳代、拡大被害）

【事故の内容】

エアコンのスイッチを入れたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

② 2019年8月（富山県、男性、50歳代、拡大被害）

【事故の内容】

学習塾でエアコンを使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した

③ 2020年9月（福井県、男性、60歳代、拡大被害）

【事故の内容】

エアコンを使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。

（本件に関する問い合わせ先）

〒920-0024 石川県金沢市西念3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 担当者 樋口、塚谷

電話：076-231-0435

以上